

## 小楠校区地域福祉ネットワーク協議会「OGUSU 友愛 2017」の立上げについて

「つながりと見守りのまち 小楠 ～元気で明るい小楠を目指そう～」をスローガンに小楠地区の地域福祉ネットワーク協議会「OGUSU 友愛 2017」が12月19日に発足しました。協議会メンバーは、協力機関を含む41名で、発足式には30名が参加しました。

今後、第3次中津市地域福祉活動計画の地域福祉の課題の解決に向けての協議や取組みのほか、福祉に関する研修会の開催、情報誌を作成、地区内の地域福祉情報の紹介などを行います。小楠校区は比較的若い世帯が多いので「孤立した若いお母さんを地域でどう支援するか」や「高齢者に対しての隣近所による見守りや関係づくり」など地域のつながりによる課題解決を目指していきます。



### 1. 設立の経過

小楠校区は、地域福祉活動を行っている団体や個人の方は多いのですが、地域の福祉団体をつなぐ組織がありませんでした。昨年行われた地域福祉活動計画の作業部会で地域課題の実践目標を考えていく中で、地域福祉活動を推進するには、地域福祉ネットワーク協議会が必要なのではとの声があがり、作業部会員や自治会・民生委員・PTA・福祉事業所などが集まり協議会の立上げに向け話し合いを行ってきました。

### 2. 目的・効果など

小楠地区の住民同士のつながりを強め、地域にある資源を有効に結びつけて活用する方法を考えるとともに、行政や社会福祉協議会、福祉関係事業所などと協力しながら、共に生きる地域社会を目指しています。

協議会の立上げは、第3次地域福祉活動計画の実践目標の一つでもあり、校区にある地域団体や福祉団体がつながることで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域の核となる団体となり、地域の福祉課題の解決を図ります。

### 3. 県下の状況

中津市が進めている地域福祉ネットワーク協議会は、地域のつながりと地域課題解決のための組織です。県内他市には地域福祉推進基礎組織としては、地域のつながり支援である「サロン活動などの支援」などを行っている地区社協はありますが、本市のネットワーク協議会は、地域住民自身が主体的に地域の福祉課題を考え、地域の問題解決のため活動を行う組織となっています。

### 4. 地域福祉ネットワーク協議会とは

地域福祉ネットワーク協議会とは、小学校区単位で構成され（下毛地域は支所単位）、自治委員や民生委員、ボランティア活動者等の地域住民や、福祉関係事業所を中心に構成され、地域課題について話し合いを行う場のことです。

普段、地域でなかなか関わることのない、様々な立場の人が参加し、地域課題について話し合い、適切な解決方法を模索するとともに、協議会を通じて、地域の新たなつながりを再構築していくことを目的に設立されています。

現在中津市内には、10カ所（南部・豊田・沖代・小楠・鶴居・大幡・如水・今津・耶馬溪・山国）で設立。今後全ての地区（15地区）での立上げを目指しています。

#### 【問合せ先】

社会福祉課福祉推進係 担当：高尾・勝見  
(TEL:0979-22-1111・内線 291、FAX:0979-23-2323)